

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	06	10451001	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	賢治の香りあふれるまちづくり					
対象	市民 観光客					
意図	賢治および賢治のまち花巻の魅力を感じてもらおう					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業 <事業内容> 施設設備の補修 ・テラスAタイル張替 ・エレベーター改修（耐震化・摩耗部品修繕含む。）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	件	計画	6	2	
			実績	6	2	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	宮沢賢治イーハトーブ館入館者数	人	目標	40,000	40,000	
			実績	31,959	28,329	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="radio"/> 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成18年度以降の当館利用者数は減少傾向にある。このため施設の老朽化を解消する整備を行いながら、賢治記念館リニューアルや宮沢賢治生誕120年記念イベントに絡めた外部要因を契機に利用者数の増員を目標として整備を進めたが、入館者数の増員にはつながらなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	宮沢賢治イーハトーブ館は市の施設であり、市で整備を行うことは妥当である
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	宮沢賢治イーハトーブ館の整備を行うことにより、来館者の満足度が向上するほか、運営を行っている宮沢賢治学会イーハトーブセンターの事業遂行にあたっては達成度が向上すると思われる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費・人件費ともに必要最低限で行っているため、これ以上の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	整備により、市民及び観光客にとって花巻の魅力が向上するため公平である。
	受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
宮沢賢治記念館をはじめとする賢治関連施設及びその周辺の地域一帯を「賢治胡四王の森」と位置付け、賢治関連施設については、各館のコンセプトを明確にしながら整備を進めている。 宮沢賢治イーハトーブ館は「賢治さんを学ぶ」をコンセプトにした施設であるが、平成4年の設置以来20数年が経過し、破損、老朽化等が進み、来館者の満足度の低下とともに宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営にも支障をきたしているところであり、設備機能の保全、向上及び施設の長寿命化を図るものとして整備は必要である。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	06	10451001	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		19,607	5,794		△ 13,813
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	19,607	5,794		△ 13,813

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 28 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

部重点施策における目標
芸術文化の振興を図る

事業開始の背景・経緯
宮沢賢治イーハトーブ館は平成4年の竣工以来23年が経過し、施設・設備の老朽化が著しい。H27年は賢治記念館のリニューアル、H28年は賢治生誕120年イベントを開催し、今後も多くの来館者が見込まれるため、設備機能の保全、長寿命化を図る必要がある。

事業概要
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業
＜事業内容＞
施設設備の補修
・テラスAタイル張替
・エレベーター改修（耐震化・摩耗部品修繕含む。）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

当該施設は、平成4年の設置から25年経過し老朽化による破損等が数多く生じ、利用者の利便性に支障をきたしている。当該施設は、宮沢賢治学会の拠点施設など「賢治さんを学ぶ」ものとして重要な役割を担っていることから、今後は長寿命化を第一とした整備を計画的に進めていく必要がある。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 藤原康之 内線 365 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

老朽化

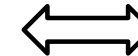
宮沢賢治イーハトーブ館
(賢治さんを学ぶ)

賢治胡四王の森整備事業

賢治記念館など賢治関連施設及びその周辺を「賢治胡四王の森」と位置付け、コンセプトを明確にしながら事業を実施する。

宮沢賢治イーハトーブ館整備

来館者の満足度向上



賢治記念館リニューアル(H27)
賢治生誕120年イベント(H28)

整備内容

H27	修繕	冷水ポンプ交換	} 済
		空気調和器修理	
		南斜花壇浄化槽放流ポンプ取替	
		屋外排水管布設替	
		空冷チラーユニット入替工事設計	
工事費	空冷チラーユニット入替工事		
備品購入費	プロジェクター更新		
H28	修繕	テラスAタイル張替	1,150,200
		エレベーター改修修繕	4,644,000
			5,794,200